

県内経済は、公共投資や住宅投資が低い水準にあり、全体的に弱い動きがみられる。

1. 県内経済動向 (2024年10月の統計資料などを基に取りまとめたものです。)

項目	今月の動向	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	投資動向は設備投資と住宅投資が前年を大きく下回っており、公共投資も含め投資動向全体として低い水準が続いている。消費動向では百貨店・スーパー販売額などに弱さがみられる。全体的に弱含みで推移しており、引き続き消費動向などを注視していく必要がある。		
消費動向	消費動向は、ドラッグストアとコンビニの販売額が前年同月比増加したものの、百貨店・スーパーが減少しており、合計で3カ月ぶりに前年を下回った。乗用車販売台数は、中古車が前年比増となるも新車は前年比減となり、合計で3カ月連続で前年を下回った。		
公共投資	公共投資は、公共工事前払保証請負金額が大熊町で前年同月比71億円減少するなど、前年同月比△16.3%と大きく減少し3カ月ぶりに前年を下回り、発注額は低い水準が続いている。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、棟数と床面積、工事費予定額がいずれも前年を下回った。工事費予定額は、前年同月比で「製造業用」△39億円と「医療・福祉用」△38億円などで大きく減少し、全体として前年同月比31億円減少した。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は3カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、「持家」が前年比△37.5%、「貸家」が同△79.6%とともに大きく前年を下回った。「持家」は4カ月連続、「貸家」は3カ月連続での前年同月比減となった。		
生産活動	鉱工業生産指数は、季節調整済指数が99.5で前月比△3.5%となった。業種別にみると、前月比低下が「食品工業」(前月比△28.7%)「非鉄金属工業」(同△22.2%)など8業種に対し、前月比上昇が「電気機械工業」(前月比+21.9%)など11業種となり、全体で前月を下回った。		
雇用動向	有効求人倍率は季節調整済指数が1.25倍で前月比横ばいとなった。「保安職業従事者」や「建設・探掘従事者」などの職種で求人数が求職者数を大幅に上回る一方、「事務従事者」は大幅に下回っている。雇用保険受給者実人員は前年比+2.6%と2カ月連続で前年を上回った。		

注1: 「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向 (↑: 改善, →: 不変, ↓: 悪化) を示し、当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比を比較して判断。

注2: 「水準」は現在における景況の水準を示し、当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値を比較して判断しており、「変化方向」が改善または悪化の場合に、「水準」が必ず変化するわけではない。

なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断。

注3: 「景況判断」は、注1および注2の通り、中長期的な指標を基に判断しているため、「今月の動向」と異なる場合がある。

注4: 鉱工業生産指数は9月データ。

注5: 鉱工業生産指数の季節調整済指数、有効求人倍率の季節調整済指数は、月による稼働日数の違い、正月や年度末の決算などの社会慣習など、季節変動の影響を取り除くことで前月や前々月との比較を可能にしたもの。

(天気図 (水準) の意味)				
晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
良			悪	

電子ブック版では目次記載の全ての記事をご覧ください。



2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2024年5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
消費動向	百貨店・スーパー販売額（全店舗）	△ 0.4	△ 0.5	△ 5.3	△ 0.5	r △ 1.0	△ 3.7
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	△ 0.3	1.2	△ 2.1	△ 1.6	△ 1.7	0.1
	ドラッグストア販売額（全店舗）	8.3	8.8	6.3	5.9	5.6	4.0
	乗用車販売台数	6.2	△ 10.9	5.2	△ 7.7	△ 2.2	△ 0.5
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 53.6	13.4	△ 0.4	1.0	9.6	△ 16.3
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	80.2	335.5	89.4	△ 20.7	187.3	△ 15.7
住宅投資	新設住宅着工戸数	5.8	9.9	9.1	△ 29.7	△ 2.1	△ 51.0
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	0.4	△ 3.4	2.1	r △ 2.7	△ 6.0	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.12	△ 0.14	△ 0.14	△ 0.12	△ 0.12	△ 0.13
	雇用保険受給者実人員	5.5	2.8	9.9	0.0	4.7	2.6

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正値。

(2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2024年5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
消費動向	百貨店・スーパー販売額（全店舗）	3.8	△ 3.9	1.4	7.6	r △ 11.0	2.2
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	3.7	△ 1.3	6.7	1.9	△ 9.1	3.3
	ドラッグストア販売額（全店舗）	0.7	4.5	2.0	2.2	△ 4.4	△ 4.3
	乗用車販売台数	6.8	△ 4.1	9.1	△ 19.3	23.0	3.2
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 30.8	67.4	△ 20.0	△ 39.0	2.9	△ 4.7
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	32.1	181.7	△ 54.1	△ 49.5	116.8	△ 20.2
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 17.0	17.9	10.5	△ 36.5	39.1	△ 55.2
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 5.0	1.3	△ 0.9	r 0.1	△ 3.5	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.04	△ 0.02	0.01	△ 0.01	0.01	0.00
	雇用保険受給者実人員	10.5	1.5	11.3	△ 5.5	△ 2.2	△ 1.8

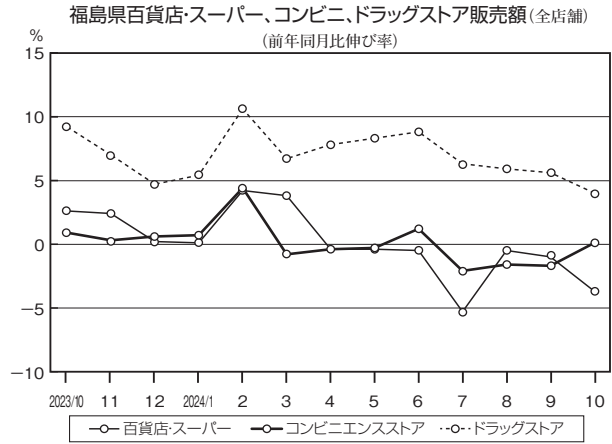
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正値。

3. 県内経済動向

消費動向

ドラッグストアとコンビニが前年比増、百貨店・スーパーが前年比減

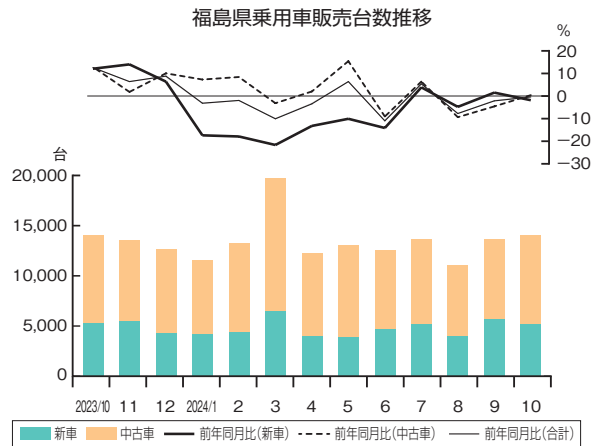
10月のドラッグストア販売額が108億23百万円（前年同月比+4.0%）、コンビニエンスストアが177億42百万円（同+0.1%）と前年を上回ったが、百貨店・スーパーの販売額は226億71百万円（同△3.7%）と7カ月連続で前年を下回った。なお、百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストアの販売額合計は512億36百万円（同△0.8%）と3カ月ぶりに前年を下回った。



(資料：経済産業省)

乗用車販売：3カ月連続で前年比減

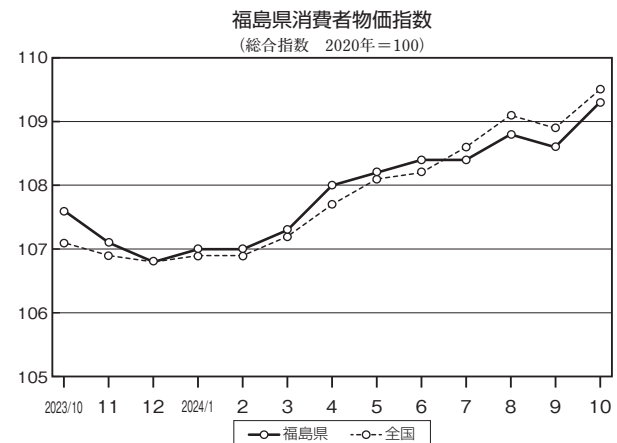
10月の乗用車販売台数をみると、新車が5,126台（前年同月比△1.9%）、中古車が8,865台（同+0.3%）、合計が13,991台（同△0.5%）となり、3カ月連続で前年を下回った。新車は2カ月ぶりに前年を下回っており、普通車が前年同月比+10.5%と前年比増となったものの、小型車が同△1.6%、軽乗用車が同△14.1%と前年比減となった。



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会福島県支部、(一社)全国軽自動車協会連合会)

消費者物価指数：前月比・前年比とも上昇

10月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2020年=100）が109.3で前月比+0.7%、前年同月比+1.6%。費目別に前月比で見ると、「食料」の119.1（前月比+1.8%）など6費目で上昇し、低下した費目は無かった。



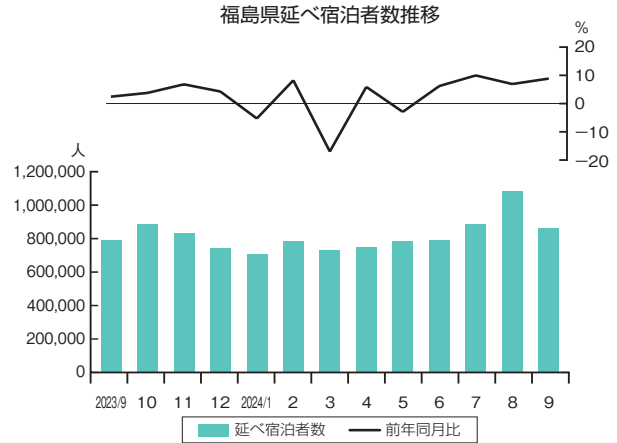
(資料：総務省統計局)

観光

※延べ宿泊者数は9月データ

延べ宿泊者数：4カ月連続で前年比増

9月の延べ宿泊者数は、859,650人（前年同月比+8.7%）と4カ月連続で前年を上回った。このうち、外国人延べ宿泊者数は20,810人（同+34.0%）と1年11カ月連続で前年を上回っている。

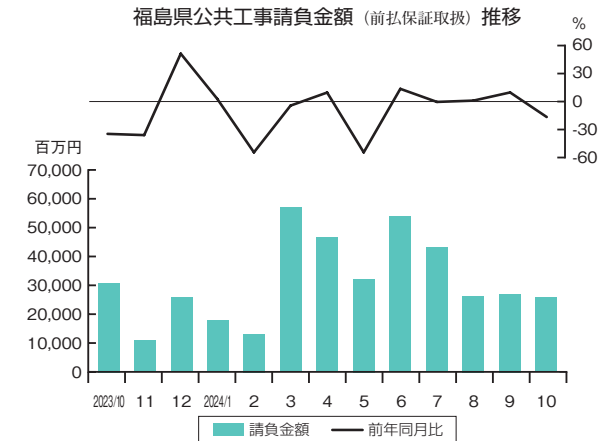


(資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」)

公共投資

公共工事：件数・請負金額・保証金額が いずれも前年比減

10月の公共工事前払保証取扱は、件数が515件（前年同月比△8.7%）、請負金額が260億4百万円（同△16.3%）、保証金額が107億46百万円（同△22.9%）といずれも前年を下回った。請負額の発注者別では、大熊町で前年同月比71億円減少した。

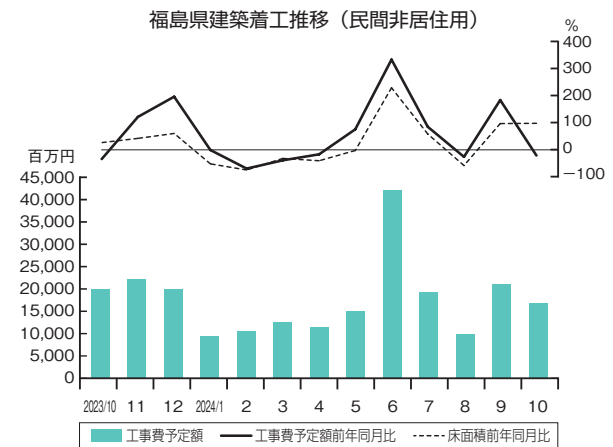


(資料：東日本建設業保証(株))

設備投資

設備投資：棟数・床面積・工事費予定額が いずれも前年比減

10月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が110棟（前年同月比△23.1%）、床面積が55,959㎡（同△26.4%）、工事費予定額が168億10百万円（同△15.7%）といずれも前年を下回った。工事費予定額を用途別にみると、「製造業用」や「医療、福祉用」などで前年比大きく減少している。

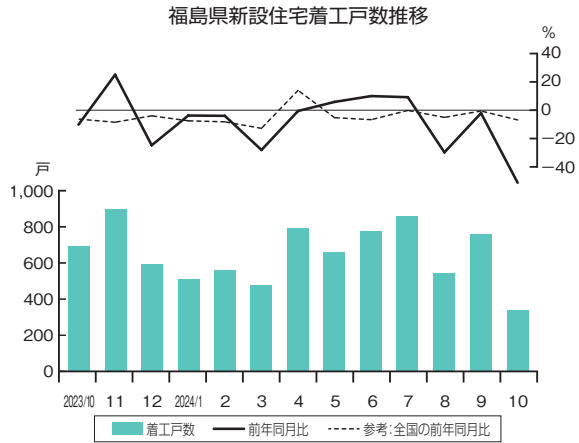


(資料：国土交通省)

住宅投資

住宅建設：3カ月連続で前年比減

10月の県内新設住宅着工戸数は341戸（前年同月比△51.0%）と3カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」が208戸（同△37.5%）、「貸家」が51戸（同△79.6%）「分譲住宅」が74戸（同△34.5%）といずれも前年を下回った。



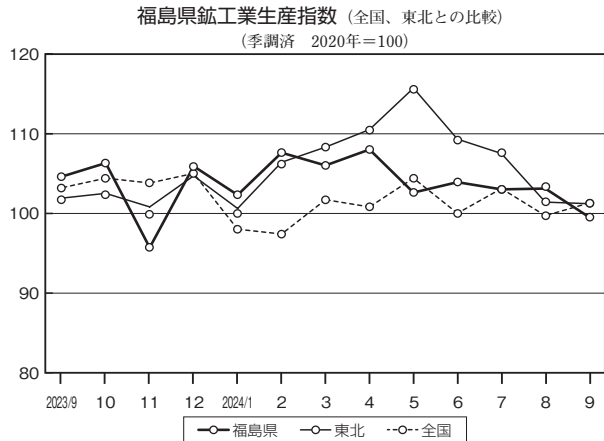
(資料：国土交通省)

生産活動

※ 鉱工業生産指数は9月データ

鉱工業生産指数：前月比・前年比とも低下

9月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が99.5（前月比△3.5%）、原指数が103.5（前年同月比△6.0%）となった。業種別の季節調整済指数前月比をみると、「電気機械工業」（前月比+21.9%）など11業種で上昇し、「食料品工業」（同△28.7%）など8業種で低下した。

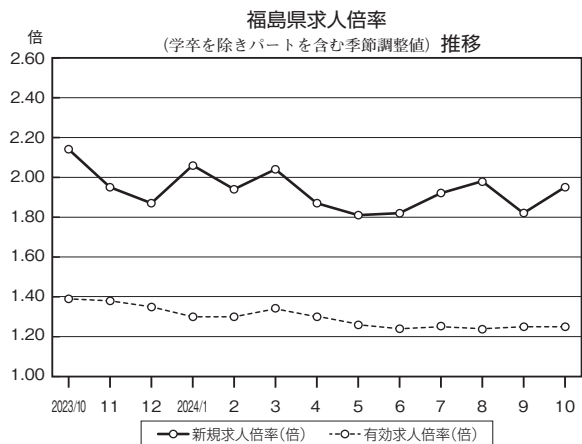


(資料：福島県企画調整部統計課)

雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比横ばい

10月の新規求人倍率は、季節調整値が1.95倍（前月比+0.13ポイント）、原数値が2.17倍（前年同月比△0.09ポイント）となり、有効求人倍率は、季節調整値が1.25倍（前月比±0.00ポイント）、原数値が1.30倍（前年同月比△0.13ポイント）となった。また、10月の雇用保険受給者実人員は6,606人（前年同月比+2.6%）と2カ月連続で前年を上回った。

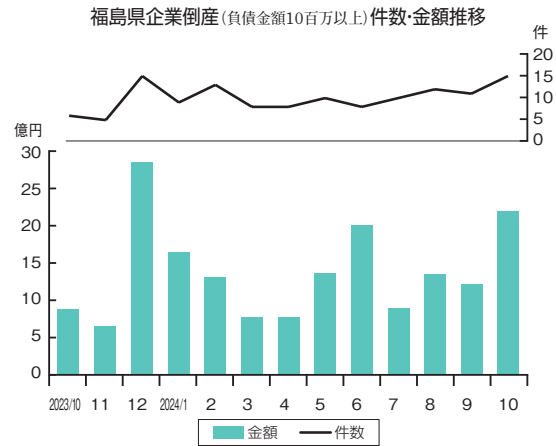


(資料：福島労働局職業安定部)

企業倒産

企業倒産：件数・金額ともに前年比増

10月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が15件（前年同月比+150.0%）、負債総額が21億95百万円（同+148.6%）。業種別では「小売業」が4件、「建設業」「製造業」「サービス業」が各3件、「卸売業」「運輸・通信業」が各1件となった。

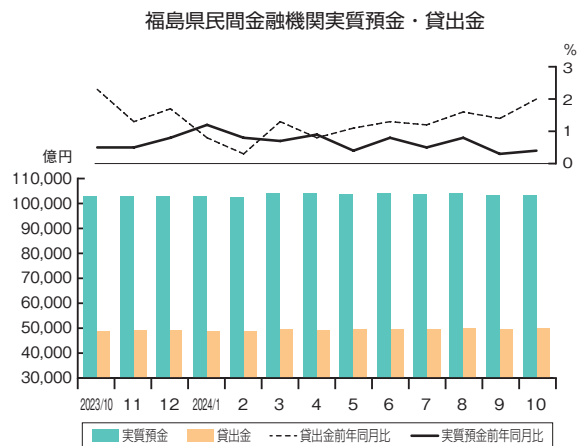


(資料：㈱帝国データバンク福島支店)

金融動向

資金需給：預金・貸出金ともに前年比増

県内金融機関（全国銀行の県内店舗分、県内8信用金庫の全店舗分）の10月末の実質預金残高は10兆3,443億円（前年同月比+0.4%）、貸出金残高は4兆9,876億円（同+2.0%）といずれも前年比増加した。

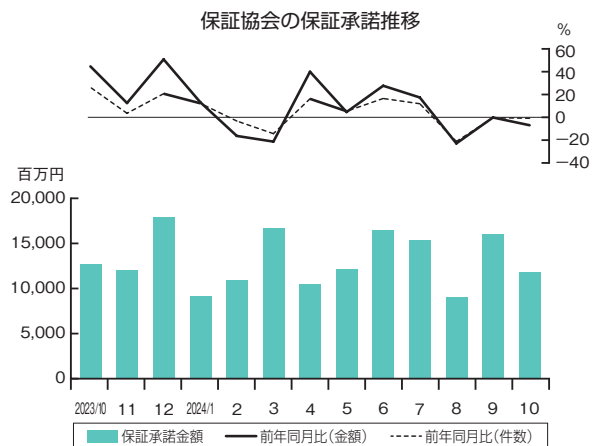


(資料：日本銀行福島支店)

※実質預金は、総預金から未決済の他店払い手形・小切手類の合計金額を控除したもの。

保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比減

10月の保証承諾は、件数が776件（前年同月比△1.0%）、保証金額が117億86百万円（同△7.1%）。10月末日現在の保証債務残高は、件数40,665件（同△4.3%）、金額5,030億20百万円（同△6.3%）。一方、10月中の代位弁済は、件数が65件（同+66.7%）、金額が6億78百万円（同+6.8%）。



(資料：福島県信用保証協会)